

授 業 科 目 名	倫理学	教 員 名	未定	免許・資格 との関係	小学校教諭	
授 業 形 態	講義	担当形態	単独		幼稚園教諭	
科 目 番 号	JIN103	配当年次	2年後期	卒 業 要 件	保育士	選択必修
単 位 数	2単位				こども音楽療育士	
科 目						
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等						
科 目	告示別表第1による教科目					
系 列	保育の本質・目的に関する科目					
一 般 目 標	保育者に求められる資質と役割、保育者の仕事内容、保育者の専門性など、保育者という仕事の概論を理解する。また、保育者の学び合う姿勢が目指すべき保育の専門性を向上させていることを理解する。					
到 達 目 標	倫理学上のさまざまな主張の検討を通して、倫理的問題に関する自主的判断能力の育成をめざす。					
授 業 の 概 要	倫理的問題に関する自主的判断能力の育成をめざす。そのために、倫理学上のさまざまな主張を紹介し、それぞれの特徴と問題点を明らかにする。具体的には、古代ギリシャ以前、古代ギリシャ（ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、ヘレニズム期、ルネッサンス期、近現代の善悪への認識のあり方及び日本における善悪の認識等を取り上げ、学生たちの自主的思考を促す。授業形態は、講義とする。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている、2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	<p>第1回:授業全体の見取り図の説明(授業のねらいを説明する。)</p> <p>第2回:倫理学は何についての学問か説明する。</p> <p>第3回:日本における倫理学の始まりについて説明する。</p> <p>第4回:倫理学が記述される言語について概説する。</p> <p>第5回:古代ギリシャ以前の倫理について説明する。</p> <p>第6回:古代ギリシャの倫理(ソクラテス)について説明する。</p> <p>第7回:古代ギリシャの倫理(プラトン)について説明する。</p> <p>第8回:古代ギリシャの倫理(アリストテレス)について説明する。</p> <p>第9回:ヘレニズム期の倫理(快樂主義と禁欲主義)について説明する。</p> <p>第10回:ルネッサンス期の倫理について説明する。</p> <p>第11回:カントの説いた倫理について説明する(1)。</p> <p>第12回:カントの説いた倫理について説明する(2)。</p> <p>第13回:現代の善悪をめぐる議論について考える(功利主義を中心に)</p> <p>第14回:倫理と宗教の関係について考える。</p> <p>第15回:現代の倫理的問題について考える。</p> <p>定期試験:(出題範囲は第1回～第15回の授業内容から。)</p>					
学 生 に 対 す る 評 価	途中レポート提出を求める30%、定期試験70%					

時間外の学習について	毎回、事前学修として、授業の前に、各自気になるワードについて辞典などを使って調べておくこと。さらに、事後学修として、授業の後に、倫理学におけるキーワードについて授業でどのように説明されたかを自分で整理しておくこと。
テキスト	特になし
参考書・参考資料等	授業の際にプリントを配付する。
担当者からのメッセージ	「ここは今から倫理です」(雨瀬シオリ)は面白いですが、この講義はそういうことではありませんので、妙な期待はしないでください。
オフィスアワー	授業の前後の時間(メール等でアポイントを取ること。)